

高速道路工事に伴う水田への流水防止対策を講じてほしい

〔相談の要旨〕

工事が進む地域高規格道路（高速自動車国道）の造成盛土の下部に設置されたU字溝から、降雨の際に路盤及び法面の流末水が水田に流れ込むため、耕作に支障がある。

私は、かねてから、地元の役場、議員等を通じて改善を要望していたが、一向に進展がなく困っている。

早急に流水防止対策を講じてほしい。

〔相談の結果〕

相談を受けた行政相談委員が現地を確認したところ、地域高規格道路の流末水を処理するために設置されたU字型側溝の容量不足及び同側溝のカーブ施工が原因で、降雨時における道路の流末水が相談者の管理する水田に大量流入している可能性があることが判明した。

役場等からの連絡のみでは苦情が解決しないと判断した行政相談委員は、ただちに、この地域高規格道路事業を実施する国土交通省九州地方整備局八代工事事務所に対し苦情通知するとともに、相談者を交えた現地立会及び改善の検討を求めた。

相談から3日後に八代工事事務所、行政相談委員に加え、相談者を交えた現地立会が行われた結果、相談者管理の水田に道路の路盤及び法面の流末水が流入しないように改善対策が行われることとなった。